

公益財団法人小岩井農場財団第4期の事業報告及び決算について下記のとおり報告いたします。

2022年度事業報告

事業期間：2022年4月1日から2023年3月31日

2022年度事業について

本財団事業に平素より格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

本財団第4期目の活動となります2022年度は、重要文化財「小岩井農場施設」の歴史的建造物21棟の保全・補修に向けて、耐震診断及び耐震補強計画の策定を推進すると共に、公開普及の為に先端技術を活用した「小岩井農場重要文化財ギャラリー」の運営並びに上丸地区重要文化財の公開等、本財団の事業基盤の整備と充実を鋭意推進して参りました。

公益目的の一つである保全調査研究事業(以下「公1」事業という。)は、文化庁指導に基づき第一号牛舎を含めた7棟について耐震補強計画策定が完了し、そのうち第四号牛舎は、耐震補強工事の準備を進めているところです。また、第一号サイロ含む4棟については引き続き耐震補強計画の策定を行っております。この調査の過程において発見された新たな知見を既知の知見と重ねあわせて、小岩井農場施設の重要文化財群の学術調査研究を推進しております。

更に、耐震診断の建物調査とは別に、同じく重要文化財群である札幌農学校第二農場を管理する北海道大学総合博物館と本財団との間で、官民連携で我が国の牧畜をはじめとした農業近代化の変遷と発展に対する共同研究の取組みの一つとして牛舎等建造物の調査を実施しております。

一方、公開普及事業(以下「公2」事業という。)としては、前述した共同研究の成果として企画展の実施に向けて準備を進めていると同時に、2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大に対する規制も徐々に緩和されたことから、重要文化財小岩井農場施設上丸地区及び小岩井農場ギャラリーの利用者数も増加し、公開ウォークツアーを企画、募集しましたが参加応募がありませんでした。学術セミナー開催等の企画は見送りと致しました。

公1及び公2事業を遂行するに際しては、小岩井農場重要文化財保存活用検討委員会の3名の大学教授の委員方及び外部有識者に、当年度も文化財調査・保護に多大な御協力を頂いており、耐震診断に係る一連の調査に於いても、小岩井農場施設の大きな特徴である稼働遺産として、将来に亘る活用を踏まえて的確な助言を頂きながら事業を進めております。

これらの財団活動は、三菱グループから御支援を賜ると共に、文化庁より小岩井農場施設第一号牛舎等重要文化財8棟の耐震補強に向けた耐震診断業務実施に対し「令和4年度文化財保存修理補助事業」として、国庫補助交付金の助成を頂いております。

2023年度以降も、本年度の成果を踏まえ、今後着手予定の重要文化財の耐震補強工事と修理工事に向けての準備と検討を計画的に進めていくと共に、調査研究及び公開普及活動を一層深めていく計画にあります。

2023年5月

公益財団法人小岩井農場財団
代表理事 辰巳 俊之

2022 年度公益財団法人小岩井農場財団第 4 期事業報告書
(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日)

1. 主な事業活動等報告

年月日	事業内容	摘要
2022 年 4 月 1 日	事業開始	
2022 年 4 月 1 日	令和 4 年度文化庁補助事業交付決定	耐震診断事業
2022 年 4 月 2 日	第 1 回臨時理事会提案書出状	4/11 決議があったとみなされる日/契約の件
2022 年 4 月 6 日	文化庁補助事業一般競争入札公告	耐震診断事業/4/22 開札
2022 年 4 月 12 日	三菱グループ各社への寄附金出捐依頼	
2022 年 4 月 12 日	文化庁補助事業見積依頼書発行	耐震診断事業/4/28 見積合せ
2022 年 5 月 1、10 日	耐震診断事業委託業者と契約締結	耐震診断調査、技術指導業務
2022 年 5 月 1-3 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2022 年 5 月 20 日	小岩井農場施設保存活用計画認定申請	文化庁 6/17 認定
2022 年 5 月 24 日	監査	
2022 年 5 月 26 日	第 1 回通常理事会開催	2021 年度事業報告及び決算他
2022 年 5 月 30 日	文化財関連の連携に向けた打合せ	北海道大学
2022 年 6 月 16 日	定時評議員会開催	2021 年度事業報告及び決算
2022 年 6 月 22 日	定期提出書類提出	内閣府、2021 年度事業報告及び決算
2022 年 8 月 4-6 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2022 年 9 月 2 日	令和 4 年度耐震診断事業計画変更承認申請	11/1 計画変更承認交付通知
2022 年 9 月 9、10 日	文化財建造物建物現地調査実施	北海道大学大学院生他
2022 年 9 月 30 日	内閣府定期立入検査	
2022 年 10 月 1-31 日	全国近代化遺産一斉公開事業参加	10/22 上丸地区ウォークツアー(中止)
2022 年 10 月 16 日	第 1 回文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断中間報告他
2022 年 10 月 17 日	文化財消防訓練	耕耘部倉庫火災想定
2022 年 10 月 17 日	重要文化財建造物連絡協議会出席	文化庁主催
2022 年 10 月 18 日	第 2 回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2022 年 10 月 28 日	令和 4 年度補助事業状況報告書提出	耐震診断事業
2022 年 11 月 10 日	第 3 回臨時理事会開催	補助事業に関する件
2022 年 11 月 11 日	第 1 回臨時評議員会提案書出状	12/16 決議があったとみなされた日
2022 年 11 月 21 日	文化庁調査官現地指導	耐震補強案
2022 年 1 月 6 日	耐震診断委託業務契約変更	耐震診断業務
2023 年 1 月 16 日	耐震診断追加調査実施	第一号牛舎付属サイロ
2023 年 1 月 25 日	令和 5 年度保存修理事業費補助金交付申請	第一号サイロほか 3 棟耐震診断事業
2023 年 2 月 12 日	第 2 回文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断/耐震補強計画検討
2023 年 2 月 24 日	第 2 回通常理事会開催	2023 年度事業計画及び収支予算の件
2023 年 3 月 9 日	第 4 回臨時理事会提案書出状	3/15 決議があったとみなされた日/契約の件
2023 年 3 月 10 日	耐震診断委託業務契約変更	耐震診断業務、技術指導業務
2023 年 3 月 14 日	耐震診断追加調査実施	第 2 号牛舎、第 4 号牛舎
2023 年 3 月 17 日	定期提出書類提出	内閣府、事業計画及び予算
2023 年 3 月 29 日	令和 4 年度補助事業完了(耐震診断 3/28)	実績報告書提出 3/29、請求書提出 3/31
2023 年 3 月 31 日	事業終了	

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

① 文化財の管理、保全修理等

- ・「小岩井農場施設保存活用計画」の改訂及び認定申請__6/17 日文化庁から認定を取得
- ・き損・修理：育牛部倉庫(扉)、第四号牛舎(柱他)、第3号牛舎(外壁、扉他)、四階建倉庫(差掛屋根、母屋他)、玉蜀黍小屋(倒壊防止柱)
- ・賠償保険手続き：四階建倉庫(落雪氷による差掛屋根き損)

② 補助事業(文化庁)1 件の遂行

- ・耐震診断事業(第一号牛舎他 7 棟)-
第一号牛舎、第二号牛舎、第四号牛舎、種牡牛舎：追加調査結果加え、耐震補強計画策定完了。
第一号サイロ、第二号サイロ、第三号牛舎、育牛部倉庫：耐震診断終了し、簡易な補強案を策定。

③ 調査研究

- ・北海道大学建物調査協力__官民連携で我が国の牧畜をはじめとした農業近代化の変遷と発展に対する共同研究

④ 文化庁へ「令和5年度保存修理補助事業建造物耐震診断事業」の申請

耐震診断事業(第一号牛舎他 11 棟) 4 か年事業の2年目は、第一号サイロ他 3 棟(第二号サイロ、第三号牛舎、育牛部倉庫)について申請。

2) 公開普及事業

① 展示館事業

- ・「小岩井農場重要文化財ギャラリー」運営管理
- ・開館期間：2022年4月16日～2023年3月31日(2021年度開館：2021年4月16日～11月3日)
- ・入館者数(推定)：57,397人(前年比162%)、
内外国人入館者数 201人(前年比211%)
外国人比0.5%(前年より0.2ポイント増)
- ・GW及び夏休み期間、ギャラリー入館者数調査及び訪日外国人対象のアンケート調査実施。

② 文化財公開事業

- ・上丸地区牛舎見学__ゲート利用者数 1,155人(前年比146%)
- ・全国近代化遺産一斉公開事業参加__10月1日～10月31日まで、
10月22日ウォークツアー企画(中止)

3. 収益の内訳

- ・事業収益：公開普及事業－文化財施設利用料及び上丸地区入場料
- ・受取補助金：国庫補助事業交付金
- ・受取寄付金：三菱G寄附金
- ・雑収益：受取利息、損害保険料

以上